

ジオメトリー比較

バイク	サイズ	リーチ	スタック	ヘッドアングル	フォークオフセット	BBドロップ	チェーンステー	最大タイヤ幅
AETHOS	49	375	514	71.75	47	74	410	32C
TARMAC	49	375	514	71.75	47	74	410	32C
DIVERGE	49	365	571	70	55	80	425	47C
ROUBAIX	49	363	605	70.8	52	80	418	38C
CRUX	49	375	530	70.5	50	74	425	47C
CROSISTA	490	366	522	70.5	50	65	425	42C
DOGMA-F	500	372	525	71.4	43	72	406	28C

※SPECIALIZEDのバイクは現行モデル、現所有のCROSISTAは2019モデル、DOGMA-Fは2023モデルで1世代前のジオメトリー

伊井的考察 & 実走感

- ①リーチはDOGMA-Fとほぼ同じなのでステム長も同じ100mm、ハンドル高はCROSISTAに近づけてオフロード走行時の操作性を確保。
- ②フロント側のジオメトリーはCROSISTAと同じなのでハンドリングの差がほとんど無い。（CROSISTAはステム長110mm）
- ③BBドロップについてCROSISTAはシクロクロスバイクなので地面とのクリアランスが大きいですがTARMACとは同数値で安定性が高い。
- ④チェーンステー長はTARMACより長くCROSISTAと同じ。振動吸収は良好で加速感はTARMACとCROSISTAの間ぐらい。
- ⑤CROSISTAはピュアシクロクロスバイクでボトルマウントは1カ所のみ、肩に担ぎやすい形状。CRUXはマウント3カ所、やや担ぎにくい。